

地球通信

学校法人 国際ことば学院
 国際ことば学院日本語学校
 〒422-8076 静岡市 駿河区 八幡 3 丁目 2-28
 TEL: 054-284-8383 / FAX: 054-284-8338
 www.kotoba.ac.jp ☒ info@kotoba.ac.jp

秋の文化祭開かれる

学習成果発表、世界お国自慢など

2017年10月11日(水)、静岡市民文化会館中ホールで、国際ことば学院日本語学校主催「第14回秋の文化祭」が開かれました。

日頃の学習成果物の紹介や展示の他、ステージでは留学生によるのど自慢、世界お国自慢などの催しが行われ、平日の開催ではありましたが、大勢の方が来場し、大いに盛り上がりました。



「お国自慢」の準備

中川 由子 (日本語教員)

毎年、秋の文化祭では留学生が自国の歌や踊りを紹介する「世界！お国自慢！！」が行われます。このお国自慢は1グループ7分という短い時間で行われました。この短い時間のために、留学生たちは7月、8月ごろから準備を始めます。この準備は各国のリーダーを中心に行われます。ステージ内容を決め、練習を行っていくのです。その時、リーダーは多くのことに頭を悩まされます。まずはメンバー集めです。留学生たちは午前と午後に分かれて授業を受け、授業のない時間にはアルバイトをしています。そのため、練習に参加できるメンバーを集めることに苦労します。また、メンバー全員の練習時間を合わせるが大変難しいです。そして、メンバーや練習日程が決まり、いざ練習が始まっても、メンバーが時間通りに集まらず、練習を始めることができないという問題もリーダー達の頭を悩ませていました。

お国自慢のステージは、国にいる留学生のご家族の協力も欠かせませんでした。文化祭のステージで、留学生はきれいな民族衣装を身に着け、仮面など様々な小道具を使用しました。これらの物は、ご家族にお願いをして、国で買ってもらい、日本へ送ってもらっているのです。その荷物がなかなか届かず、ハラハラすることもありました。

その苦労を乗り越えて、文化祭のステージに立った留学生たちの表情は、文化祭終了後は充実感に満ちていました。

「書道展」



「のど自慢」



「世界お国自慢」



「ベトナムの少数民族の踊り」 タイ ビン ミン チャン(C1 クラス ベトナム)



2017 年の国際ことば学院日本語学校の文化祭のお国自慢大会で、ベトナムは「ベトナムの少数民族の踊り」を披露しました。ベトナムの伝統的衣装といえば「AO DAI」(アオザイ=ベトナムの民族衣装の名称)とわれています。ただ、それは KINH 族というベトナム最大の

民族の伝統であって、その民族以外にもベトナムには 53 の民族があるのです。今回の文化祭では、KINH 族以外の少数民族の代表の服と踊りをぜひ紹介したいと思いました。

実は、お国自慢大会での発表にはいろいろな問題が起こりました。一番難しかったのは全員の空いている時間を合わせて一緒に踊りを練習するということでした。しかし、参加してくれたみんなが協力してくれたおかげでベトナムのチームは楽しみながら発表することができました。練習は大変でしたが、他の国の人たちも同じ時期に同じ目標をもって練習をしている様子を見て、お互いにはげましあいました。お国自慢大会の発表は、同国の友達はもちろん、他の国の友達とも交流ができる貴重な体験になったと思います。

学 事 予 定 表

11 月 17 日	防災避難訓練
12 月 3 日	第2回 日本語能力試験
22 日	秋学期 授業終了
12 月 28 日～1 月 4 日	学校事務所冬季休業
1 月 9 日	冬学期 授業開始(3 月 20 日まで)
3 月 13 日	卒業式(グランシップ)

静岡ライオンズクラブが教科書を寄贈

LC60周年記念事業でインドネシアに日本語テキスト



静岡ライオンズクラブ(LC)が 60 周年記念事業として当校のインドネシアバンドン事務所内にある日本語教室“HINODE”に日本語の教科書 20 セットを寄贈しました。静岡から世界につながる活動として同 LC が企画したもので、日本語教育機関への寄贈は、5 年前に引き続き 2 回目となります。教科書は 10 月下旬にバンドンの日本語教室に到着。早速学生らに利用されています。ありがとうございます。

左・バンドンで静岡への留学を準備している学生たちに教科書

リレーエッセイ

「私と日本語学校」 (2)

中村 八重子 (国際ことば学院日本語学校 教務主任)

「先生、こんにちは。久しぶり！私のこと覚えていますか？」学校を訪ねてくる卒業生たちは決まっとう尋ねてきます。国際ことば学院に勤務するようになって早や16年。送り出した学生は年々増えています。自分の道を歩いている一人一人は自信に溢れていて、中には教職員より貫禄がついている卒業生もいます。この再会の瞬間は私の働くための原動力の一つです。

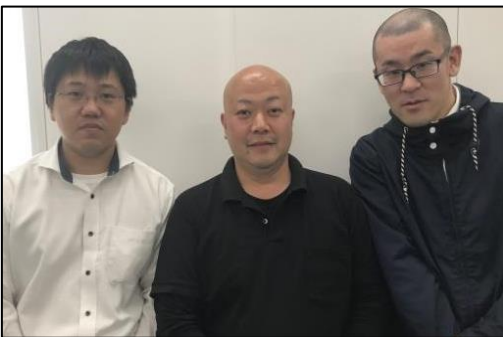
日本語学校では毎年、4月7月10月に新入生を迎えます。留学生にとって日本語学校は最初の日本文化との接触の場。来日したばかりの学生たちの希望に満ちた目は、「さあ、頑張ろう」と私のやる気をリセットしてくれます。そして何年か経った時、卒業生たちと同じようになってほしいという期待を持つと同時に、それだけの責任も感じています。

日本語学校にいと学生の在籍期間だけに目が行き、ともするとここは「入口」かつ「通過点」であることを見落としがちです。日本語学校は勉強のみならず彼らが道を切り開く「力」をつけるための学校で、終着点ではありません。彼らの人格を尊重しつつ、よりよい前途が開けるよう学生とともにある場所なのだと思います。

比較的近くで生まれ育った私には、国際ことば学院は地元の学校です。教師として学校が「どうあるべきか」を考えるのはもちろん、地域住民として客観的に「どうあってほしいか」という面からも学校の存在意義を考え、地域貢献のできる学校づくりを探っていきたいと思います。

新規職員の紹介

事務職員、日本語教員に新しい仲間



梅島さん 山西さん 沢倉先生

■梅島(うめしま) 智勝 さん (事務部)

「11月から勤務させていただいています。10年ほど前になりますが、カナダに1年半留学していました。私も留学生の一人でした。その経験を生かし、留学生のみなさんが日本で楽しく安全に生活できるサポートをしたいと思っています。よろしくお願い致します。」

■山西(やまにし) 博隆 さん (事務部)

「10月からお世話になっています。笑顔を大切に頑張ります。よろしくお願い致します。」

■沢倉(さわくら) 悠二 先生 (非常勤日本語教員)

「ここ数十年で日本の伝統的価値観や社会の在り方といったものが薄れ、新しい価値観や考え方があふれている現代の中、ことば学院は共同体として地域に根差し、学生も職員も共に歩んでいく在り方に日本らしさを強く感じております。この共同体の中で何らかの力や個性を発揮できればと思います。よろしくお願い致します。」

◆「40代は“オッサン”じゃないよお」期待の働き盛り新御三家。学生のみなさんは、名前をおぼえてくださいね。

ことばニュース

地域の祭りでネパール民族舞踊を披露

“登呂まつり”ステージに出演

10月7日(土)、静岡市駿河区登呂地区の一大イベントである「登呂まつり」に当校留学生が出演しました。参加したのはネパール人留学生のサジャナさんとスシュマさんの2名(共にEクラス)で、アルバイト時間の合間を縫って練習し地域のみなさんの前でネパールの踊りを披露しました。踊りの後、司会やお祭りの実行委員の方から励ましの言葉を頂戴しました。

国宝久能山東照宮で、ソイヤッ、サー!

“久能みこし”に留学生32名

10月8日(日)、久能山東照宮で久能みこしが行われ、当校留学生32名がみこしの担ぎ手の他、「手古舞」役として神輿渡御に加わりました。正午近く、久能山山下の鳥居付近で神事から始まり、東照宮境内へみこしを担ぎ上げ、日本平ホテル庭園まで行列に加わりました。神輿渡御は日の落ちる時間帯まで続き、留学生たちはホテルの用意した直会で参加者たちと歓談を楽しみました。



小学生と、Let's speak English!!!

藤枝小学校で交流授業

10月27日(金)、藤枝市立藤枝小学校5年生の学級で行われた授業に当校留学生7名がゲストティーチャーとして参加し、小学生らと交流を楽しみました。この授業活動への参加は毎年行われており、留学生が積極的に参加を申し出ます。授業では少人数のグループに留学生がゲストとして加わり留学生の出身国を紹介したり、子供たちの質問に答えました。See you!

未来へ向けて、さあ、はじめようぜ。

10月生入学式開かれる

10月28日(土)、学校ホールで10月入学生の入学式を挙行了しました。10月生20名と遅れて来日した7月生2名の留學生活の出発を祝いに関係者らが集まり、互いに自己紹介をしたり、歓談をするなど、楽しい時間を過ごしました。

文化の日に近所のみなさんと運動会!

八幡3丁目運動会に参加

季節外れの長い雨がようやくあがった文化の日、当校の所在地である八幡3丁目で運動会が開かれ、住民の一員として留学生4名が運動会に参加しました。参加したティンチョーさん(Kクラス ミャンマー)は一通り競技を終え、町内のみなさんと後片づけまでこなし「日本に来て、一番楽しかった日」とスキップしながら公園を後にしていました。

ご寄付感謝します

天野 寿美子 様(藤枝市) 花器 友田 洋子 様(藤枝市) 陶器、他
小出 好子 様(静岡市葵区) 炊飯器、他 小山 八重 様(藤枝市) 布団、他

◎譲り受けた花器は、文化祭でさっそく飾らせていただきました。今後も当校の日本語教員高橋光子先生が留学生を対象に開く生け花教室で活用させていただく予定です。

【 次回の地球通信(国際ことば学院日本語学校版)は新年1月発行予定です。 】

編集より♪ 地域とのつながりを深める行事に多数参加しました。町内の方が外国人留学生たちを特別扱いせず、普通に接して下さることが何よりもうれしく、感謝で一杯です。日本語学校がこの町で本当によかった。編集・野田 敏郎